

日本の「食品ロス」は
年間464万トン^(※)

事業者 231万トン
50%
家庭 233万トン
50%

みんなで食品ロスの削減に 取り組んでみよう！

「食品ロス」ってなんだろう？

まだ食べることができるのに、捨てられている食品のことをいいます。

日本の「食品ロス」は年間464万トン^(※)で、食品ロスの約半分は家庭からでています。日本の人口1人当たり、毎日、おにぎり1個分(102g)の食べ物を捨てている計算になります。



(※) 令和5年度推計(農林水産省・環境省)

「食品ロス」を減らすには……

食品の期限表示を正しく理解することが大切です。

「消費期限」と「賞味期限」を正しく理解することで「食品ロス」の削減につながります。

「消費期限」

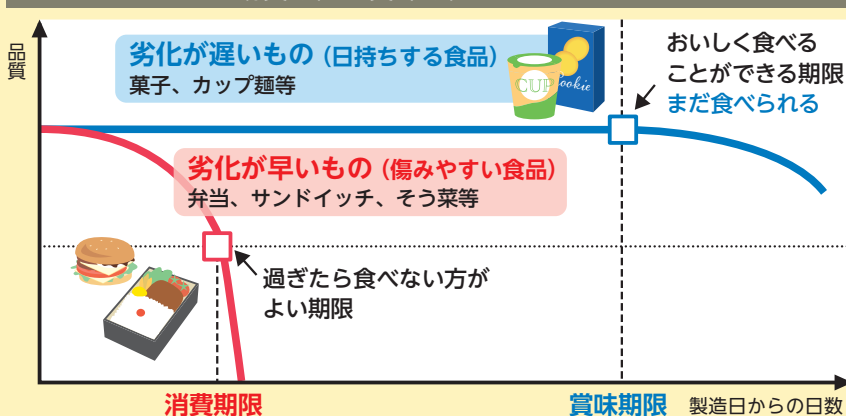
過ぎたら食べない方がよい期限

「賞味期限」

おいしく食べることができる期限

※表示されている期限は開封前の期限ですので、一度開封したら期限に関わらず早めに食べましょう。

消費期限と賞味期限のイメージ



意味

賞味期限

おいしく食べることができる期限
(best-before date)

定められた方法により保存した場合に、期待される全ての品質の保持が十分に可能であると認められる期限。ただし、当該期限を超えた場合でも、これらの品質が保持されていることがある。

消費期限

過ぎたら食べない方がよい期限
(use-by date)

定められた方法により保存した場合、腐敗、変敗その他の品質(状態)の劣化に伴い安全性を欠くこととなるおそれがないと認められる期限。

宴会などの際にできる食品ロス削減取組！

3010運動とは

3010運動は宴会などでの食べ残しを減らすためのキャンペーン

乾杯後 **30** 分間

1

席を立たずに
料理を楽しむ

お開き **10** 分前

2

自席に戻り、
もう一度料理を楽しむ

ことを呼びかけ、食品ロスを削減するものです。



いちご いちえ 一期一会(15・10)のすすめ(法人会版3010運動)

法人会では多くの人との交流を目的としていることから、

乾杯後 **15** 分間

1

席から離れず
料理を楽しむ

終了前 **10** 分間

2

自席でもう一度
料理を楽しむ

と呼びかけることで交流を楽しみながら、
食品ロス削減にも取り組むこととしております。



全法連作成啓発用「三角柱POP」



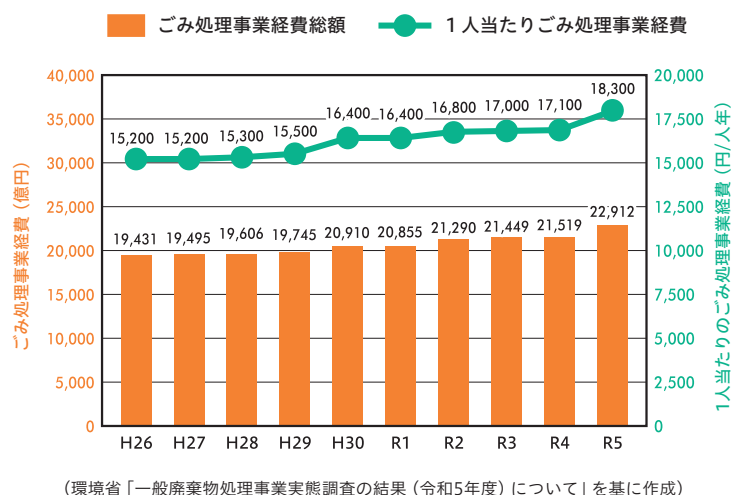
「食品ロス」を
減らすことは……
地球にもやさしいね

「食品ロス」削減は、地球温暖化の原因である二酸化炭素(CO₂)を減らすことに繋がります。生ごみは重量の約80%が水分なので、焼却時に多くの燃料を使用し、二酸化炭素(CO₂)が発生します。また、重量のある生ごみを減らすことでごみの運搬に使う燃料も減ります。

家庭からの食品ロスは、一般廃棄物の一部として処理され、焼却処分するための費用は、税金で賄われています。食品ロスを含む一般廃棄物の処理費用に年間約2.3兆円(※)が使われています。

(※令和5年度)

■ごみ処理事業経費



お問い合わせ先

～法人会 女性部会は「食品ロス」の削減に取り組んでいます～

全法連「食品ロス」
サイトはこちら

